

日本女性放射線腫瘍医の会助成事業 報告書

岐阜大学 放射線科

牧田 智誉子

この度、日本女性放射線腫瘍医の会研究助成事業に採択いただきましたのでご報告申し上げます。

今回、私が勤務していた岐阜県総合医療センターで放射線治療を行なった下咽頭・喉頭癌の患者について、頸動脈狭窄病変で治療を行なった患者の発生率とリスク因子について調査した研究 “Vascular events from carotid artery atherosclerosis after radiation therapy for laryngeal and hypopharyngeal cancer: the incidence and risk factors” を *Nagoya Journal of Medical Science* で報告いたしました。その際に英文校正の費用を助成していただきました。

大学や high volume center ではより優れた研究ができると思いますが、一般の病院に勤務していても患者さんお一人お一人から学ぶべきことは沢山あります。日々の臨床から疑問に思うことや調べたいことをテーマに行う細々とした臨床研究であっても、時に誰かのお役に立てるはずで、一般病院の日常臨床の中で行なった研究活動についてご報告させていただければと思います。

今回の論文、一度リジェクトとなりまして、その後バタバタとしているうちに半年以上再投稿できず、アクセプトされるまで一年かかってしまいました。そのまま再投稿できずじまいで終わってしまいそうになりましたが、一年間は何度でも再校正できるプランで英文校正に出していたため再投稿してみる気になりました。少し高くなってしまいますが、自信のない時や余裕のない時はオススメです。やらなくてはいけない事が沢山あって、やろうと思っていた事が全く捗らない事はままありますが、JAWRO の先生方のご活躍はいつも私の励みになっています。

最後に今回助成に採択いただきました会長 内田伸恵先生、会員支援企画委員長 大村素子先生、事務局総務 伊井憲子先生はじめ JAWRO の先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。